

無料でもらえる お得情報、 メールアドレスを 登録して 早速探検だあ〜。



クリッピング サービス編

illustrator: Kaori Takahashi



電子メールの無料配信サービスは本当に便利？

パフォーマ5410/DOSコンパチブル：(株)コジマが96年10月に発売したMacintoshとWindowsが使えるオリジナルマシン。

PC互換カード：「PC Compatibility Card」のこと。これを特定機種

のMacintoshに組み込むと、Windowsが使用できるようになる。

波乗野郎：「Perman Surfer 波乗野郎」。指定したホームページを自動収集してくれるソフト。本誌8月号参照。

ふっかあ〜っ！ というわけで先月号の遭難事故（「パフォーマ5410/DOSコンパチブル」のPC互換カードを使ったダイヤルアップ接続断念）にもメゲず、今月も始まるインターネット探検である。

さて、今月の探検テーマは？ 「もうハードウェアの探検はこりごりだよな〜」ってなボヤキを編集部に入れていたところ、二度続けて「隊長遭難」では編集部の始末書問題になると思ったのか、今回の目標はまず事故の恐れはなさそうなオンライン探検となった。ターゲットは「タダでもらえる最新情報」。

ん？ タダでもらえる最新情報って、ひょっとして新聞社のウェブページ訪問か？ 安易だな〜……なんて考えてたらまだまだトシロ、甘いっす。実は、インターネット使いにはウェブよりもラクチンと評価も高い電子メールを使った無料情報配信サービス、いわゆる「電子メール新聞」を試してみようという企画なのだ。

確かに、世間的にはインターネットと言えばネコモシャクシもWWW。サラリーマ

ン向けの某週刊誌にもお勉強用ホームページ解説が連載されているというご時世である。しかし、こと実用性ということから言えばどうかとなると、この電子メールを使ったサービスは捨て難い。一部ではウェブより便利モノと隠れた人気なのである。

なぜ？ って言うと、そりはですなえ、まず第一にウェブはブラウザを立ち上げていちいち見に行かないとまずい。ま、几帳面なヒトはブックマークなんぞをしっかりメンテしてたりするが、それでもいちいちボタンをクリックするなんて面倒くさい……って、あ！ そういえば以前に探検した「波乗野郎」なんていう便利グッズを使えば自動的にウェブのページを集めてくれるんだった。う〜ん、すっかり忘れてた。これではロジックが成り立たない……ゲゲ。

し、しかしですね、ウェブはなんたって読んでる間は回線をつなぎっぱなしだ。その間、電話料金と接続料金がどどんかか。けど電子メール新聞の場合、メールソフトを使っていれば、一旦接続したら自動的にメールを取り込んでくれて、即ディスコ

ネクト。あとでじっくり読める……って、これまた「波乗野郎」だと同じことができるんだなあ～うう。ぐ、ぐるしい。病み上がりの体に冷や汗が……。

考えてみると、電子メールは文字だけだけど、ウェブはグラフィックも使ってあって見栄えもいいしなあ～。この企画、出発以前に遭難状態なんじゃないの？ まずいっすよ～、編集部う。

⑨ 電子メール新聞は波乗野郎に勝てる？

あ、そだ。最大のポイントはこれ、これ、速報性！ 情報をいちいちウェブで見れるようにHTML化するのって、ちょっとした作業が必要で、ページ作りに時間がかかる。その証拠に毎日情報が更新されるウェブってそれほど多くないダショー？ さらに、実際にページに出かけてみても、写真やイラストが毎回違ってるっていうのも少ないね（ちょい弱気）

次に考えられるメリットが、メールソフトにどんどん情報を蓄積しておけば、手元に情報が残るわけだから、ちょいと思いついたときに読み直したり、キーワード検索したりできるってこと、かな？（よしよし、段々調子が出てきたぞ）

ところで（と強引に話の流れを変える）この手のサービスの申し込みはどうするのかと言うと、まずはウェブのページに出かけるのである。その昔は、登録用の電子メールアドレスに「subscribe」とかいう本文を送ると、それだけで登録完了というスタイルのものがはやった（米国あたりではまだ盛んに使われている）らしいけど、なんでも入り口はやっぱりウェブなんだな、最近ではあ。

しかしなあ～、先月の企画も「MacintoshでWindowsも動く」というおトク狙いだったんだけど、企画倒れのあの始末だし……。と冒頭から若干の不安を残しながらも編集部がこの手のサービスをやっているウェブのURLを調べてもらい、今回の探検に出かけることにしたのであった。

⑨ おそろべし、ニッケイ！ 充実の情報力

さて、まず最初に出かけたのが日本経済新聞の出版部門（というわけではない？）日経BP社のウェブ「Nikkei BP Online」である。

ホームページ（<http://www.nikkeibp.co.jp/biztech/index.html>）の左フレーム



メール配信サービスのメリットは速報性。



さすが新聞社のメールサービスは記事内容が充実している！



Biz Tech
<http://www.nikkeibp.co.jp/biztech/index.html>



net n@vi
<http://netnavi.nikkeibp.co.jp/top/top.html>



登録するときに暗証番号は必ず覚えておこう。



メールボックスがパンクしないように、登録前にメールの配信回数確かめておこう。

某メールソフト：Netscape MailやMicrosoft Internet MailなどがクリッカブルURLに対応している。

の中に「電子メール配信サービス受け付け」というのがあり、ここをクリックして登録開始だ。

登録画面に行き着くまでの間、サービスの概要が表示されるが、一般向けに提供されるのは「BizTech」と「netn@vi」の2つのメール配信サービス。これ以外の「日経マルチメディア」「日経ニューメディア」は定期購読者専用となっている。

登録画面では、まずE-mailアドレス（これがないと配信できないもんな）を入れ、半角数字4ケタの暗証番号を入力する。どうやらこれは、あとで設定を変更するときに必要らしい。確認のため、暗証番号をもう一度入力したら、次は購読するメール配信サービスの選択。

「BizTech」のほうは月～金の配信で「登録完了日から土、日、祝日を除く2日以内に配信を開始」だそうだが、「本サービスは実験的に行っているものです。弊社の事情により、休止させていただく場合もあります」とのことだ。一方の「netn@vi」のほうはサンプルを見ることもでき、月2回の無料配信である。

名前を漢字フルネームで入力、さらにフリガナを全角カタカナで入力、連絡先の電話番号、自宅が勤務先かの選択、FAX番号、生年月日、連絡先の郵便番号と住所、ビル・マンション名、勤務先名、役職名などを入力したあと、さらに「下記の項目から興味のある分野を選んでください」として「経済・経営」から「デザイン・アート」までのラジオボタンが並んでいる。

う～ん、どうやらこの並びを見ると、同社の発行している定期購読雑誌に近いと見た。ひょっとしたら物理DM（郵政省扱いの紙郵便）でも来るのだろうか？あとは「送信」ボタンを押すだけで準備完了である。

さて肝心の内容だが、届いたメールを点検してみると、「主なニュース」「ビジネス・経営」「コンピュータ」「パソコン」

「インターネット」といった項目の下に個別のヘッドラインがあり、この下に日経BPのサーバー中の該当するページのURLが書かれているといった具合。ま、「メールで読みたい内容があったらウェブにアクセスしてね」というところ。某メールソフトみたいにURLをクリックするとそのウェブページに飛ぶといった機能があれば、これはこれで十分役立つ……が、そんなギミックのできないマシンの場合は……悲惨。

「netn@vi」のほうは、言ってみれば同誌の販売促進用メールといったところ。ただし、内容のほうは記事で取り上げたウェブページの簡単な説明がURLとともに紹介されてて、これはこれでなかなか役に立ちそう。月2回の発行ということもあって、がんばるメールが来ることもなさそうだから、申込みをしておいてもソソはない。

ついでと云っては申し訳ないが、日本経済新聞社のほうでも「NIKKEI MAIL Cyber」というメールサービスを行っている（<http://www.nikkei.co.jp/business/stat/email/>）。こちらは土日祝祭日、新聞休刊日を除く毎日朝2回（！）の配信……う～ん、さすがに新聞社である。

内容は、日経、日経産業新聞の主な記事やプレスリリースがそのまま。つまり新聞のネタの流用という思いきりのよさ。どうやら有料化に移行する前のテスト運用を無料でやっているという形だが、有料化のアカツキには新聞記事が全部メールで送られて……きても困るだろうし、実際はどうなるんだろうとちょっと心配……することはないな、無料テストの場合は。

突然ですが大切なお知らせ
(CMもどき)

と、ここまで書いたところでちょっとインターネットマガジン編集部のお隣を見ると、あ、そういえば「インターネットウォッチ」編集部が……。

土日祝祭日を除く毎日発行で6か月2400円という有料電子メール新聞の草分けである。もちろん、ここもウェブページ (<http://www.watch.impress.co.jp/internet/sample.htm>) 経由で無料サンプルの購読ができるので、お勧めなのであるが、ここは本誌巻末の「TEMAEMISO」ページではないので、サラッと義理を果たして次である。

⑨ 「MY PLAZA」はめっけもんです

このほかの主要な全国紙のウェブものぞいてみたが、どうやらすでに有料化してしまっているものが多く、収穫なし。そこで今度は方向転換してプロバイダーのホームページを探ってみることにした。

まずは大手日電さんちの「BIGLOBE」ここんちはフットバラ～に自分ちの会員じゃなくても利用できる各種サービスを提供中とのことだ。そこでさっそく問題のページ「MY PLAZA」(<http://netplaza.biglobe.or.jp/MYPLAZA/login.html>) にアクセスしてみた。

「『MY PLAZA』って何？」から「MY PLAZAってこんなに便利」を選択してみると、上から「登録方法……まず登録してみ

よう!」「クリッピング・サービス……必要な最新情報が毎日あなたの元へ」などが並んでいる。しかし、何はさておき「まず登録してみよう!」じゃねえ……。

とりあえず「クリッピング・サービス……」を選択してみると、説明が表示されるが意外に充実した内容である。このサービス、簡単に言えばユーザーがあらかじめ興味があると指定しておいたジャンルのウェブの最新情報を、電子メールや個人向けウェブページで知らせてくれるというもの。何日分の情報を、いつ知らせるか(毎日? 何曜日?)、そのジャンルは……などの指定ができる。

これは面白そうだと思って、早速登録画面へ。説明によれば、登録後は「Creative Farm メンバー」として、前述の「MY PLAZA」を始め、「24時間オンラインパブ人生劇場」「InternetTakemuraWorld」「Begin Online」などが楽しめるほか、クイズ、ゲームに参加できる……とか。うーん、なんか料理テンコ盛りだが中には食べたくないものもあるぞ。

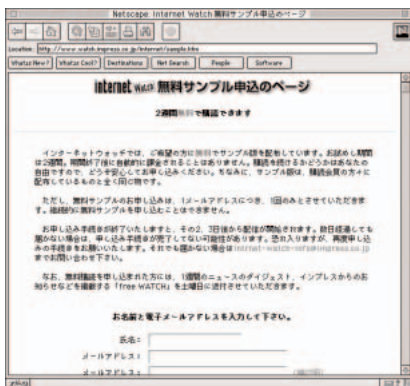
それとはともかく、自分で選んだ「メンバー名」やパスワード、住所・氏名・年齢・職業など質問項目に答え、最後に「登録確認メール」が「いる」のラジオボタンを押して登録を終える。



MY PLAZAのクリッピング・サービスは「使える」。



興味あるジャンルの最新WWW情報が毎日メールで配信される。



Internet Watch無料サンプル申込のページ
<http://www.watch.impress.co.jp/internet/sample.htm>



MY PLAZA
<http://netplaza.biglobe.or.jp/MYPLAZA/login.html>



メールがHTMLファイルで届くので、ブラウザでそのまま読める。



せっかく登録しても、メールがあまり届かないと寂しい……。

ここんとこ立て続けに登録してるので馴れたもんであるが、確認メールを保存しておかないと、パスワードを忘れちゃったりするからね。

早速「MY PLAZA」に戻って登録名とパスワードを入力し、「カスタマイズ」のコーナーへ。

「Myブックマーク」の次にある「webクリッピング」を見ると、やたら長いカテゴリリストが……。う～ん、これをいちいち読んでクリックしていくとなると気が遠くなるほど数が多い。しかし、興味あるジャンルにぴったんこのものがあれば、かなり便利かも。

さて、登録に成功すると、しばらくしてから電子メールで最新のウェブ情報、しかも自分の関心のあるとこだけが届く……のであるが、これがまた結構すごい。

何がと言うと、普通のプレーンテキストではなくそのままブラウザで開けるHTMLファイルで来る。これだけならなんてことはないが、そのレイアウトが普通のテキストエディターで読んでも読めるように、ちゃんと改行してあるのである。エライ！なんか大メーカーの無料サービスだから大味なんじゃないかと考えてたが、うれしい誤算だ。

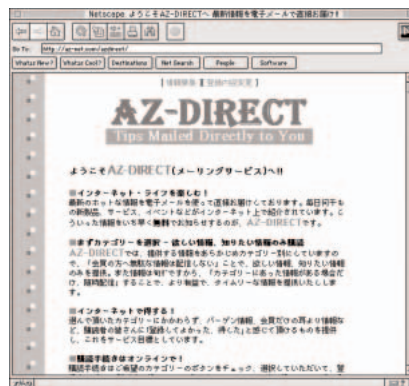
◎ 今後の情報量に期待の「JMAIL」

しかし、メジャーなところばかりじゃ探検隊の名がすたる。というわけで、今度は日電よりはちょっとばかりコブりなページ、AZ-NETという会社のやっている「AZ-DIRECT」(<http://az-net.com/azdirect/>)へ。

この売りは、毎日インターネット上で紹介されている何千もの新製品、サービス、イベントなどの情報をいち早く無料で提供、というものだ。用意されているジャンルは、「アダルト」から「旅行・レジャー」まで14種。ま、多すぎるわけでも少ないわけでもない適当な数だが、面倒な場合は「全て」を選択することもできる。登録も名前とメールアドレスを入れるだけ、とヒジョーに簡単だ。

さてその結果は……という、メールが来るには来るんだが、ばらりばらり。しかも、なんだか海外のものが多い気がする。ま、日本語の翻訳がついてるのは親切だけど、なんかリアリティがねえ……。

続いてアクセスしたのが「JMAIL」(<http://www.jmail.com/>)というサービス。ホームページには「雑誌のことならおまかせ！100誌以上の最新の広告や目次な



AZ-DIRECT
<http://az-net.com/azdirect/>



JMAIL
<http://www.jmail.com/>

どが見られます」とか「音楽情報ならおかせませ！メジャーなホームページに関する動きはここで入手可能」という、つつい寄り道したくなるようなリンクがある。

誘惑をはねのけて「メーリングサービス」をクリックすると、「どんなメールが来ますか？」とか「たくさんのメールが来て困りませんか？」といった初心者ナットクもののQ&Aが書いてある。ううむ、こういう親切さっていいじゃありませんか。これをちゃんと読めば、今回の探検は終わったようなもんかもしれない。メーリングサービスを利用してみようと思う人にはお勤めのページである。

ということで「登録」ページに進んでみると、自分の趣味や趣向を登録しておけばマッチした情報が入り次第、メールを配信してくれるサービスや、発売日を知りたい雑誌名を登録しておけば、発売日当日にメールで知らせてくれるサービス、さらにこの手のサービスの音楽版、アーティスト版も揃っている。

さて問題の登録だが、選択肢の数は各ページともほぼよい程度。この手のページって、分類がめっちゃくちゃだったり、しつこく質問されるとムカつくもんだが、カテゴリーがちゃんとできているせいか、あまり気にならない。

ちなみに一番選択肢の多いのはアーティスト版の登録ページだが、どんなアーティストがラインアップされてるのかをながめるのも楽しい。もっとも、音楽ジャンルの登録では「カラオケでよく歌うほうですか？」なんていう質問があったりして、これはどういう統計の意味があるのか、カラオケ屋のスポンサーでも付いているのか？なんて考えてしまうが……。

ついでながら雑誌登録のページでは、インターネットマガジンもちゃ〜んと「コンピュータ・ゲーム」(ん?)のカテゴリーに登録されていて、ぐおつかあ〜く、である。

では登録の成果は？ 確かに某クルマ雑

誌の発売日には「あなた向けの情報が入りましたのでお知らせします」というご丁寧なお知らせと、目次を掲載したページのURLが届いた。が、残念ながらそれ以降、私の登録キーワードが悪いのか、それとも大して情報が入力されていないのか、ぜんぜんメールが来ない。しかし無料なので文句は言えないし……と考えているところで年末進行の締切になってしまった。

🌀 これからはマルチメディアクリッピングでしょ？

さてさて今回の探検、とりえず無料というページには登録しまくったので、これからメールボックスを開くのが楽しみというか怖いというか。しかし正直なところ、少なくとも1か月くらい使ってみないと、結果は見えてこないと思うのである。

ま、本当に質の高いニュースや情報が欲しいのなら、やっぱり有料サービスということになりそうなことは十分に想像がつく。が、やっぱり正式に有料登録する前に、お試しサービスを見て判断というのが人情だろう。そういう意味では、もっと有料サービスのお試しが増えてもいいような気がする(だって、配達料金は無料なんだしね)。しかし、いくら情報が豊富に届けられるといっても、自分の知りたい情報を見つけるのに苦労するほどのメールが届くのもカンベンだし……。

となると、やっぱり豊富な情報の中から、自分に興味のあるものだけを選んで届けてくれるクリッピングタイプのほうがよさそうな気がする。そういう意味では、ひょっとしたら電子メール新聞サービスっていうのはもう古くて、これからは電子クリッピングサービスなのかもしれない。しかも、そいつがマルチメディアメールだったら……なんて勝手な風向きを感じながら今回の探検を終わることにしよう。



有料サービスのお試し版があるといいのに。



自分のほしい情報だけを送ってくれるクリッピングタイプがおすすめ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp